

平成24年度 一般会計歳入歳出 決算認定に対する討論 (要旨)

●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの会議録検索をご覧ください。

反対 史上最高の黒字決算の下、区民には痛み押し付け、開発には税金投入

日本共産党目黒区議団 森 美彦 議員

反対理由の第1、緊急財政対策の初年度600事業62億円を削減し、区民生活に多大な痛みを押し付けた。第2、区有施設の統廃合、職員削減、民営化で、自治体の公的責任を後退させ変質を進めた。特養ホームも認可保育園も用地不足であるのにJ R跡地を売却しようとしている。4年ごと際限ない施設使用料値上げを決定した。施設老朽化や豪雨震災対策に必要な技術系職員不足、社会教育館の「貸館」化、図書館の開館時間縮小と相談機能の低下が危惧される。区立保育園7園の廃止民営化や児童館・学童保育クラブの民間委託を打出し、一方的に中学校統廃合を進めた。第3は、区民生活ないがしろの一方で、大型開発を優先した税金の使い方をした。大橋ジャンクション

屋上公園は、整備費のみならず維持管理経費の全部を首都高(株)に負担させず区が肩代わりした。大橋図書館を、5億円で済む現在地で建替えず20億円掛かる再開発ビル9階に移転した。第4は、史上最高43億円の黒字決算となった財政問題。目黒区長は、根拠もなく「緊急財政」と強調するが、苦しいのは区民生活。財調基金を100億円積むと言うが、バブル期でも80億円であり異常なため込み計画である。景気変動などで激しく変動する経常収支比率を根拠に、区民生活関連経費を削減すべきではない。財政健全化判断比率は5年間改善の一途。区財政は、住民福祉の増進にこそ優先すべきである。

賛成 3年間の削減への区民の善意と理解 区民生活に「倍返し」せよ

自由民主党目黒区議団 おのせ 康裕 議員

9月7日未明、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定された。7年後の大きな国際的な「おもてなしの場」への扉は開かれた。政権交代後の本決算の認定から来年度予算編成にも、これらの課題に関連する項目は多く見受けられる。平成24年度一般会計当初予算は、東日本大震災から1年を経過し、財源不足の回避と基金残高の維持を目指したアクションプログラムの初年度となり、歳出の徹底抑制、事務事業見直し結果の既定経費・臨時経費への反映、新規経費・レベルアップゼロといった予算編成方針とした。平成24年度の厳しい財政状況の下にあって、防災対策や待機児童対策等の社会的緊

急課題への取り組み、公債償還や新規起債の抑制、とりわけアクションプログラムの成果は32億5千万円を1千万円上回る削減規模となり、基金活用も5分の1程度に抑制できたことは評価できる。しかし、目黒ショックと言われた財源不足に対する原因究明や人件費、公債費の削減、収入未済等の徴収努力、何よりも区民の善意の協力の下に、今回の決算結果、削減結果が成り立っていることを深く肝に銘じ、この3年間の見直し・削減事項が、近い将来「倍返し」となって区民生活に反映されることを願い、議案第46号平成24年度一般会計歳入歳出決算の認定に賛成する。

決算特別委員会正副委員長



吉野 正人副委員長

飯田 倫子委員長

反対 青木区政の失敗を監査意見書は隠蔽！ 区有地は高く売る努力せよ！

無所属・目黒独歩の会 須藤 甚一郎 議員

無所属・目黒独歩の会は、平成24年度一般会計歳入歳出決算の認定に反対する。青木区長は、決算特別委員会の答弁で、監査委員による決算審査意見書を再三引用した。しかし、意見書の内容は、3年間で約180億円もの行政サービスのカットを「財源確保」と言い換え、箱根保養所、上目黒福祉工房等の区有資産の売却を「区有資産の活用」と表現。売却を活用とはあきれ。青木区政失敗の隠蔽だ。青木区長が選任した監査委員は職責を果たしているか。

青木区長は、原発事故で苦悩する福島県の住民の実態を把握せず、また姉妹都市である気仙沼市に対する支援もほとんど行っていない。青木区長の無責任さが露呈したのが目黒清掃工場問題だ。目

黒区民はゴミを分別しているが、他地区から同量の分別していないゴミが搬入され焼却しているが、その事実を区民に周知しないのは大問題だ。

上目黒福祉工房売却は、高く売る努力を何もせず売却し、事実上、区に損害を与えたことと同じだ。平成24年9月11日から11月15日に不動産鑑定し5億3,400万円。11月20日の財産価格審議会で4億4,100万円と算定。なぜか鑑定額より1億円近く安い最低制限価格にして、平成25年2月6日の競争入札により6億4,140万円で売却。昨年12月の衆院選で自民圧勝し安倍総理誕生。アベノミクス効果で不動産高騰。総務部長は「総合的に判断した」というが、とんでもない。

賛成 限りある財源で、区民へ安心・安全・最良のサービスを！

公明党目黒区議団 佐藤 ゆたか 議員

平成24年度の国会は、社会保障と税の一体改革に基づく消費税の増税に議論が集中。年末には衆院の解散総選挙があり、自民・公明連立政権へ、経済の立て直しが始まり、激動の一年。

目黒区も同じく激動の年であり財政健全化の初年度、事務事業を見直し歳入確保策を進め経常収支比率が88.9パーセントに改善。歳出では、義務的経費のうち扶助費が前年度比2.0パーセント増、今後も扶助費の注視が必要。

区有施設見直しでは、施設白書を基に施設数や配置、数値目標を掲げ、資産・負債、収益・費用、減価償却を管理する公会計制度導入を強く求める。

また、福祉避難所の設置、防災計画への女性の視点、避難所のコミュニケー

反対 「聖域」にメスで税収もアップ！ 「五輪」は復興のために！

無会派 松田 哲也 議員

日本維新の会に所属する議員として今決算の認定に反対する。まず歳出抑制策だが、区民に180億円もの負担を強いるだけでは財政改善に至らない。聖域とされてきた専門定型業務の外部化に踏み込むべきだ。業務によっては9割が民間に委ねられ、税収も増加する。さらに歳入増加策としては、生産年齢層を厚くする短期かつ中長期的な施策

が不可欠だ。一つとして3世代近居助成制度は非常に効果的である。社会による介護や子育てを補完し行政コストも軽減される。

また、東京オリンピックの経済効果は150兆円との試算もある。目指すは復興五輪。被災地にその果実が行き渡る仕組みを自治体も設計すべきだ。

賛成 自然と共生できる持続可能な社会 健全財政の実現に向けて着実な推進を

刷新めぐろ 木村 洋子 議員

リーマンショック・小泉内閣の骨太改革・政権交代と著しく動く社会状況に落ちつかない政治、冷え込む経済など、その影響は大きく、広く多方面へと及んだ。

本区も平成24年から3年間で約180億円の財源を確保せざるを得ない財源状況の中、財政健全化に向けた全事業の総合的な見直しを始め、目黒区施設白書の作成、区有施設の大幅な見直しに向けた取り組みは、健全財政の実現、安定運営の着実な推進に期待するものである。

厳しい財政状況の下、箱根保養所売却も決まった。平成26年までの予定であった代替処置の検討も、区民の声をきちん

と受け止め、来年から選択肢の拡大に向け前向きに検討を進めるとの柔軟な対応を確認することができたことは評価する。また、経常収支比率が80パーセント台に低下したことも評価できるが、財政の健全運営の圏にはほど遠く、今後も注視していく必要がある。

区長は、環境と調和した地域づくりへの取り組みについて、「みどり豊かな人間のまち」を中・長期的な視点に立って継続的に取り組んでいくと所信表明している。

自然と共生できる持続可能な社会、区民サービス低下を最小限にとどめた財政健全化への歩みを要望し、賛成する。

賛成 今後の集中豪雨に備えよ！ 2学期制を見直せ！

無会派 広吉 敦子 議員

決算に賛成する。学校開放は不用額を開放時間延長に活用せよ。民間の子育てふれあいひろばを増やせ。子ども・子育て会議の目黒版、めぐろ子ども施策推進会議は教育委員会としっかり連携し、計画を作れ。生徒に負担のかかる目黒版実力テストを見直すこと。いじめ問題の根本原因である共感力、基本的信頼感、自己肯定観低下を食い止める対策を急ぐ

べき。アンケート調査を行い、2学期制の検証をせよ。集中豪雨の備えとして、半地下家屋の土嚢、ポンプ、止水版整備による対策、緑道の貯留管整備、全区にわたる雨水浸透ます、雨水タンクの設置啓発をすべき。区民の財産である区有施設見直しは、シンポジウム等区民の生の声を反映できる場をつくり、十分に議論すべき。

賛成 外郭団体の自立を促し さらなる行政改革の推進を

無会派 秋元 かおる 議員

平成24年度目黒区一般会計歳入歳出決算に賛成する。緊急財政対策に係る事務事業見直しの初年度として、財源確保を確保したことは評価に値する。

しかしながら、財政健全化への道りは決して平坦ではない。今後増大する社会保障費や区有施設の修繕費用は目黒区財政をさらに圧迫するため、さらなる

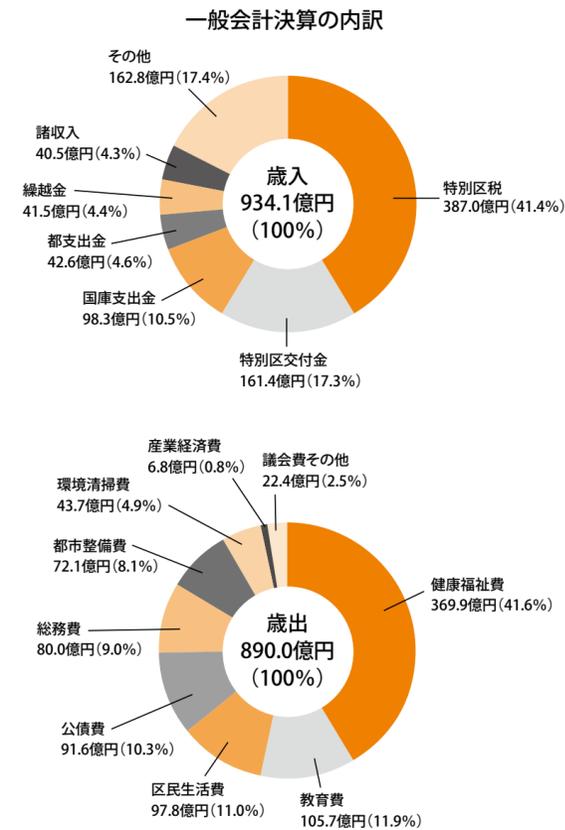
行政改革を推進しなくてはならない。特に外郭団体への補助金のあり方は見直すべきである。補助金を受け、最低賃金水準で仕事を受注するのではなく、補助金を廃止し民間水準で競争する体質に改めたり、隣接区と共同管理するなど、補助金を減らしても外郭団体が自立できる施策の推進を求める。

平成24年度各会計歳入歳出決算のあらまし

各会計の決算額、一般会計決算の内訳の概要は、図表のとおりです。(図表の数値は、四捨五入をした関係で、一部合計が合わない場合があります。)

		(単位：億円)		
		平成24年度	平成23年度	増減率(%)
一般会計	歳入	934.1	906.3	3.1
	歳出	890.0	864.8	2.9
国民健康保険特別会計	歳入	258.7	252.7	2.4
	歳出	254.2	248.2	2.4
後期高齢者医療特別会計	歳入	54.3	50.7	7.1
	歳出	54.2	50.3	7.7
介護保険特別会計	歳入	168.5	158.8	6.1
	歳出	165.4	157.1	5.3

詳しくは、「平成24年度目黒区各会計歳入歳出決算書」をご覧ください。



議員写真展

芸術の秋、議員写真展が開かれます。回を重ねて25回目となった今年のテーマは、【まち～town～】です。議員活動の合間をぬって撮影したもので、毎年秋に開催しています。今年も目黒区議会議員等の力作が展示されますので、お気軽にお立ち寄りください。

【開催日時】 11月26日(火) 12:30～16:00
27日(水)～28日(木) 9:00～16:00
29日(金) 9:00～15:00
【会場】 目黒区総合庁舎5階 区議会第一会議室
【問い合わせ】 区議会事務局庶務係 電話03-5722-9413
主催：目黒区議員美術同好会 協賛：目黒区議員文化会



10/1から 区公式ホームページがスマートフォン対応になりました



区議会の情報も見やすくなりました。スマートフォン(多機能携帯電話)で区公式ホームページにアクセスしていただくと、案内が表示され、スマートフォン用のレイアウトに切り替わります。パソコン版と同じ情報をご覧いただけます。ぜひご利用ください。
URL <http://www.city.meguro.tokyo.jp/>
<問い合わせ>区議会事務局広報係 ☎03-5722-9415